



2010年3月9日

各 位

会 社 名 株式会社CFSコーポレーション
代 表 者 代表取締役社長 石田 岳彦
(コード番号：8229 東証1部)
問 合 せ 先 取締役経営戦略本部長 武市 守弘
電 話 番 号 045-476-7474

会 社 名 イオン株式会社
代 表 者 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号：8267 東証1部)
問 合 せ 先 執行役 岡内 祐一郎
電 話 番 号 043-212-6042

株式会社CFSコーポレーションの新たな成長について

株式会社CFSコーポレーション（以下「CFS」という）とイオン株式会社（以下「イオン」という）は、CFSの成長戦略を加速させ、イオンのH&BC事業分野の強化・拡充を図るために両社が相互協力することが必要と判断し、両社の提携関係を更に強化することに基本合意いたしましたので、ご案内申し上げます。

1. 提携強化の主旨

CFSは2008年7月に策定した「トータルヘルスケアのリーディングカンパニー」の実現を目指す中期3ヶ年経営計画を順調に推進し成果を確実なものとしてきており、ドラッグストア事業部門について、更に確固たる事業基盤を整備し成長戦略を加速する必要があります。また、イオンは全国で展開するGMSのH&BC売場のより一層の進化に向けて、CFSが強みをもつ化粧品販売等のノウハウを必要とするとともに、SM等を含めたグループ全体のH&BC事業の体制強化を図っており、両社協議の結果、この分野における相互の協力関係を強化することが最善と判断するに至りました。一方、CFSのスーパーマーケット事業部門については、中期3ヶ年経営計画で掲げた収益部門化を達成し、新しい店舗フォーマットの開発、確立に向けて着実に進んでおります。CFSとイオンは、これらの成果を踏まえ、「キミサワ」ブランドの強化と更なる成長発展を図るために新たなステージを準備する必要があるとの相互認識に至りました。

今回の基本合意は、CFSとイオンの更なる成長を実現するため、CFSのドラッグストア事業部門をイオンのH&BC事業の中核に位置づけるとともに、CFSのSM事業部門をイオンのSM事業強化に結びつけ、さらに、CFSのSM・ドラッグストア融合店舗「コンボ」業態での医薬品販売の経験を全国のイオングループSM店舗での医薬品販売の進化につなげるため、相互の協力体制を構築するものであります。

2. 基本合意書の骨子

(1) ドラッグストア事業における相互協力体制

イオンは、新たな提携の下でCFSをH&BC事業分野における中核会社と位置づ

け、C F Sの強みを活かし、G M SのH & B C売場の活性化を進めるとともにグループ内のH & B C事業の強化を図ってまいります。加えて、C F Sの店舗網を活用し、イオンの首都圏戦略におけるドラッグ事業の展開強化を図ってまいります。一方、C F Sはイオンが積極的に経営資源を提供することにより、創業以来目指してきた専門性の高いドラッグストアの創造をより一層強化し、トータルヘルスケア企業の実現、地域医療への貢献、在宅を含む調剤事業の強化、医療分野ならびに関連する周辺ビジネスへの本格参入等を進めます。また、ドミナントの深耕、エリア拡大、業界再編への積極的参入などを通じて、成長を加速してまいります。

(2) スーパーマーケット事業の移管

C F Sのスーパーマーケット事業部門は、新たな成長へ向け1年以内を目処にC F Sより分離させ、イオンに引き継ぎます。同事業部門は、イオンの直接子会社としてイオンの経営資源を全面的に活用できる体制のもとで、「キミサワ」の人財、路線を継承しながら収益基盤の強化、店舗網の充実強化を実現し「キミサワ」ブランドの復権を目指します。

なお、この分離・継承にあたっての具体的な時期、方法については今後両社にて協議決定いたします。

※ (1) 及び(2)により、C F Sのドラッグストア事業とS M事業は各々專業化され、イオンの各々の事業とのシナジーが一段と発揮できる体制となります。

(3) 資本関係の強化

前記のC F Sとイオン両社のH & B C事業及びS M事業の成長を加速するにあたって、両社の協力関係をより密なものとし、相互の経営資源・人財を最大限活用できるよう、イオンはC F Sに対する出資比率を51%を目処とする過半数まで引き上げる見込みです。C F Sは現執行体制のもとで更なる成長を目指してまいります。

出資比率引き上げ手法については、C F Sの東京証券取引所市場第一部上場の維持を前提として、その具体的な時期、方法については第三者割当増資、公開買付けその他適宜イオンとC F Sとで協議の上今後決定してまいります。なお、公開買付けを行う場合には、買付け価格を600円を目途として協議検討しております。詳細につきましては決まり次第公表いたします。

3. 今後の日程

- ・ 出資比率引き上げの具体的な時期、方法については3月末を目処に決定し、公表いたします。
- ・ C F Sのスーパーマーケット事業は2011年2月期中にイオンに継承いたします。

4. 今後の見通し

今回の提携強化がC F Sの業績に与える影響については現在算定中であり、影響が判明次第お知らせいたします。

今回の提携強化がイオンの業績に与える影響は軽微です。

以上